

ひばりクリニックでの他施設研修を終えて

梶原診療所 渡邊 仁

今回は1日という短い時間ではありましたが、うりずん・かいつぶりの見学、往診同行をさせて頂き、ありがとうございました。

まずクリニックに入った時の印象はクリニック全体が木の温もりを感じ、落ち着いた雰囲気のある院内であることが印象的でした。また院内の掲示にもスタッフの皆さんの手作りの工夫が随所に見られることに驚きました。

午前中はうりずんの見学をさせて頂きましたが、スタッフの方々が本当に明るく利用者様のケアに当たっていらっしゃるの印象的でした。また、うりずんで行なったイベントの写真も拝見して利用者さんやそのご家族が楽しそうな笑顔をされており、うりずんが地域にとっていかに必要とされている施設かということを感じました。かいつぶりの見学では病児のお子さんをお預かりするにあたり、動線の工夫や隔離の工夫などがなされていることがよく分かりました。病児保育はただでさえ経営上は厳しい中、コロナの影響で更に厳しい状況になっているというお話も聞いて、今後事業主単位ではなく自治体・行政で取り組んで欲しい課題だと感じました。

午後は高橋先生の往診同行では、まず先生の笑い・笑顔を大切にしつつも礼を重んじ、利用者様やそのご家族の日常にも細かな気遣いの言葉をかける姿が印象的でした。私も普段の訪問診療の中で、特に忙しい日などは体調面の話のみに終始して、世間話・雑談などを通してのコミュニケーションを忘れていた時があるのではないかと反省する面がありました。医療的ケアが必要なお子様の訪問診療・先生のお話を通して、ご家族の計り知れない苦勞・涙を少しでも想像して理解しようとする高橋先生の姿勢には感銘を受けました。まだまだ私自身医師としては未熟で小児科の専門知識は不十分ですが、お子さんやご家族の背景・歴史まで理解して診療を行うという面ではプライマリケアと通じる部分も多く、チャレンジして行きたいとも感じました。

訪問診療後には、高橋先生から同時多発テロでの経験や、開業に至るまでの経緯を聞き、地域のために必要とされていることを行って行こうという医師としての強い姿勢を感じました。私自身、今後のキャリアを考えていく上で刺激になるお話でした。先生の“時として関係性は専門性を超える”という言葉は、私も普段同じようなことを考えていたこともあり今後大切にして医師として生きていきたいと思えます。

1日という短い時間でしたが、高橋先生初め、スタッフの皆様には大変お世話になりました。今回の研修を生かして今後も研鑽を積んで参ります。ありがとうございました。